

第2章 岡山市民の健康をとりまく状況



1 人口の動向

<人口動態>

岡山市の人口は、令和4（2022）年9月末現在70万2808人（住民基本台帳人口）で、平成30（2018）年の70万8911人をピークに減少しています。高齢化率（65歳以上人口割合）は徐々に上昇し、平成27（2015）年の24.7%から、団塊の世代の全てが75歳以上となる令和7（2025）年には27.4%、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22（2040）年には32.3%になると予測されています。一方、介護や看護等の担い手ともなる、年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。

図1 男女別年齢階級別人口ピラミッド（外国人を除く）

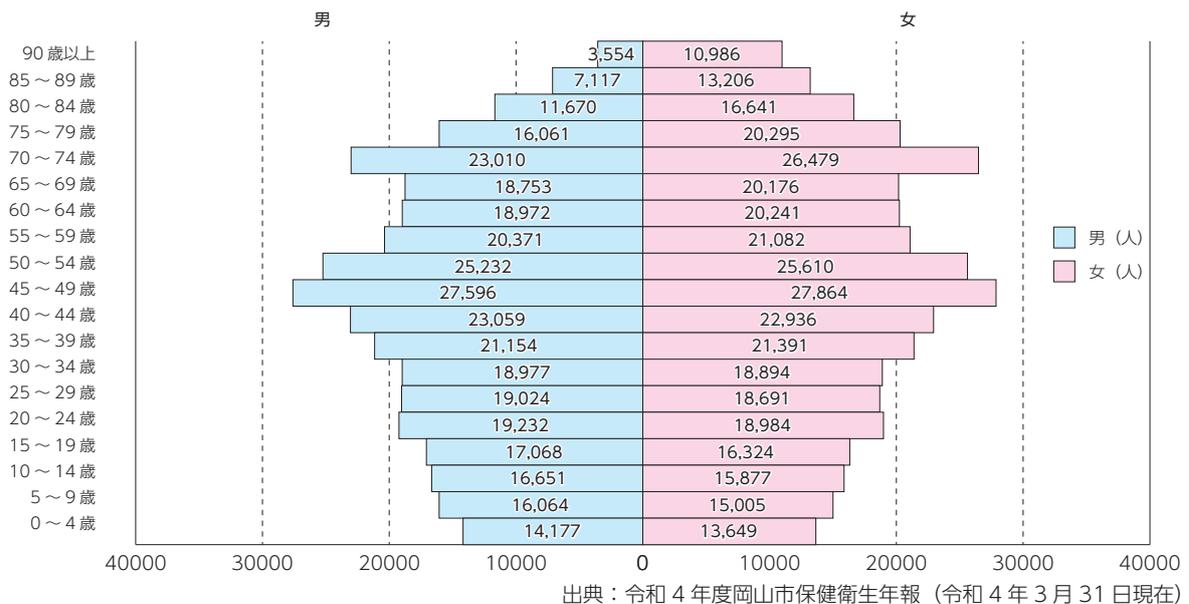


図2 住民基本台帳に基づく人口ピラミッドの推移

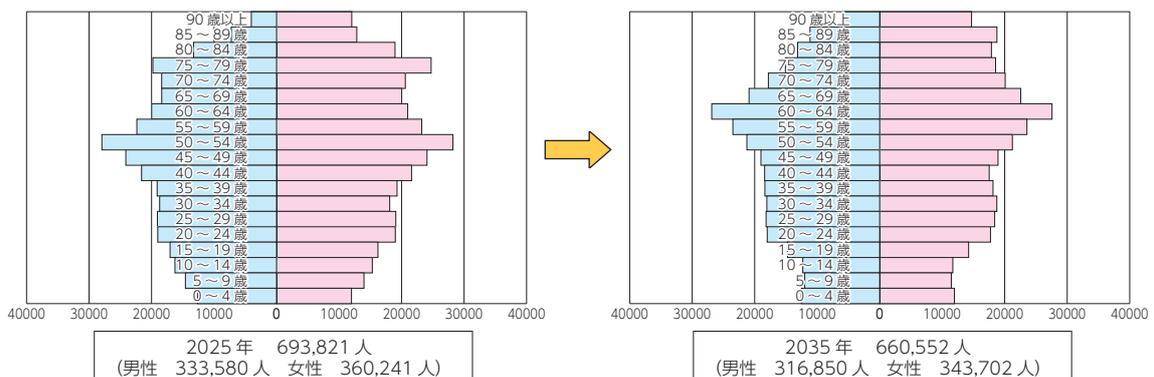
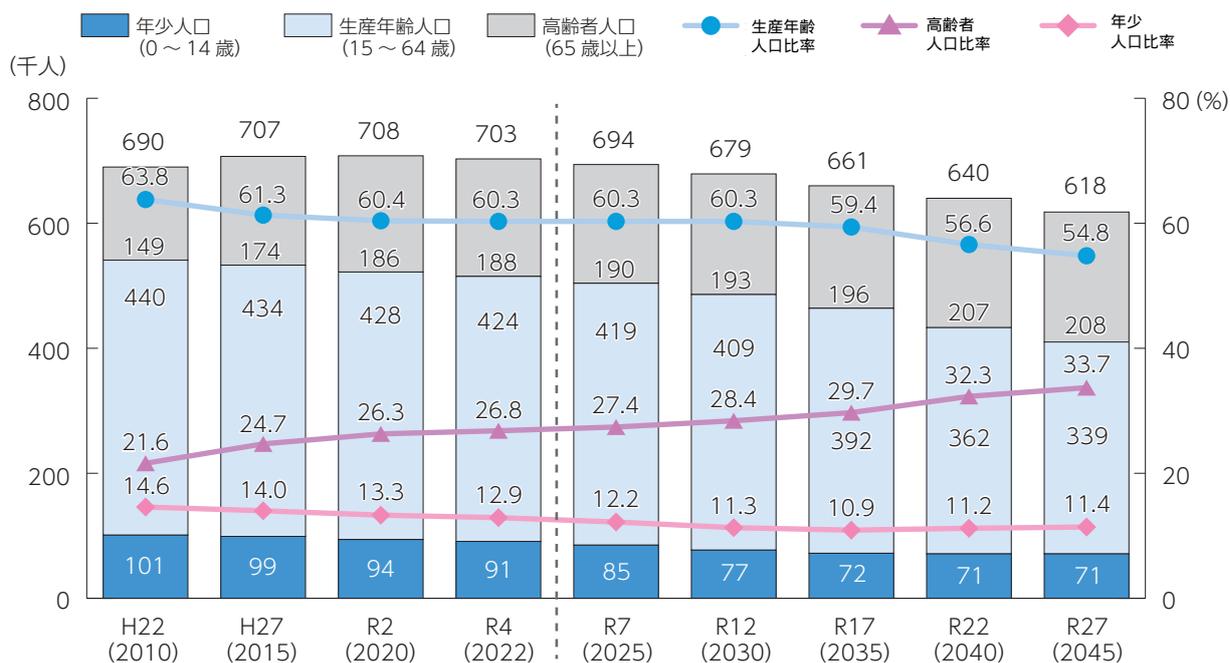


図3 住民基本台帳に基づく岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口



出典：岡山市第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）

<出生状況>

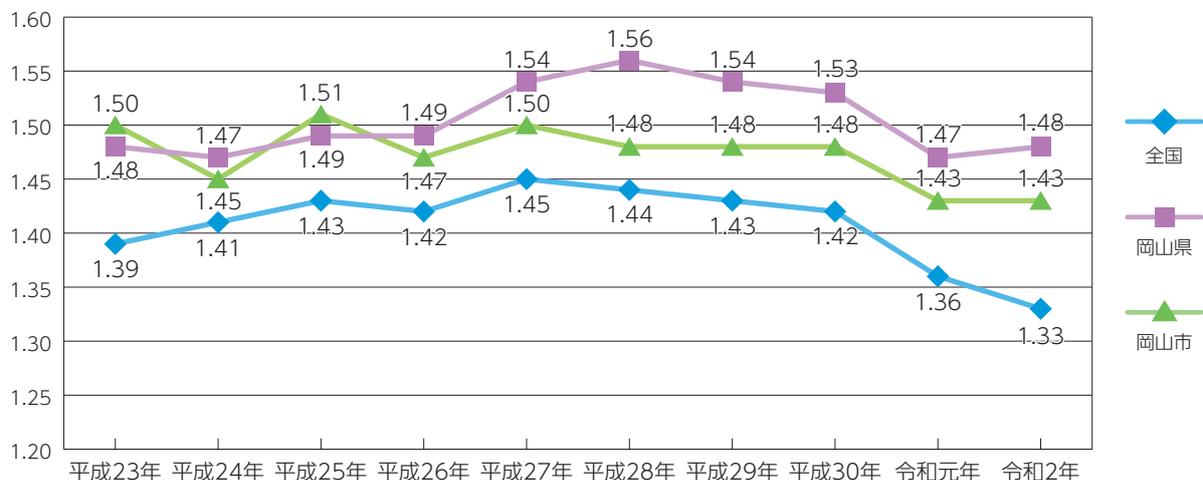
合計特殊出生率^{※1}は、全国に比べると概ね高い水準、岡山県に比べると概ね低い水準で推移しています。令和2（2020）年の岡山市での合計特殊出生率は1.43となっています。

出生数、出生率^{※2}は、年々低下しており、令和3（2021）年の岡山市の出生数は5,360人、出生率は7.6となっています。

※1 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性が一生の間に生む子どもの数に相当する

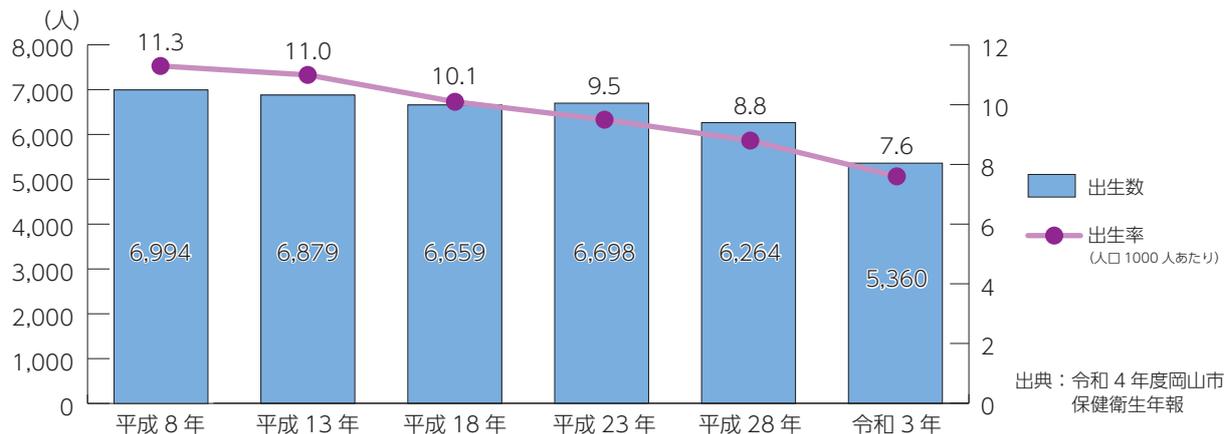
※2 出生率：人口1,000人あたりの出生数

図4 合計特殊出生率の推移



出典：令和4年度岡山市保健衛生年報 人口動態統計

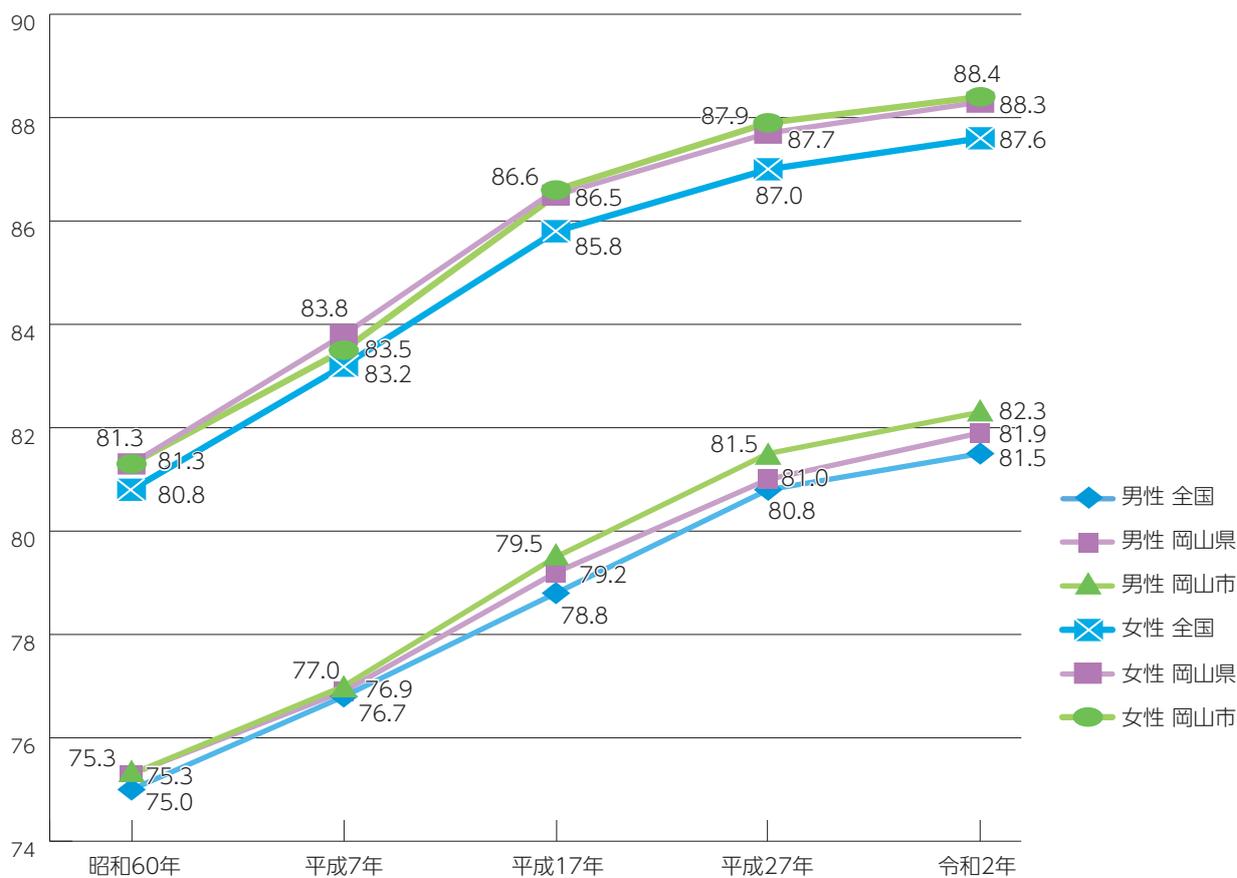
図5 出生数、出生率



<平均寿命>

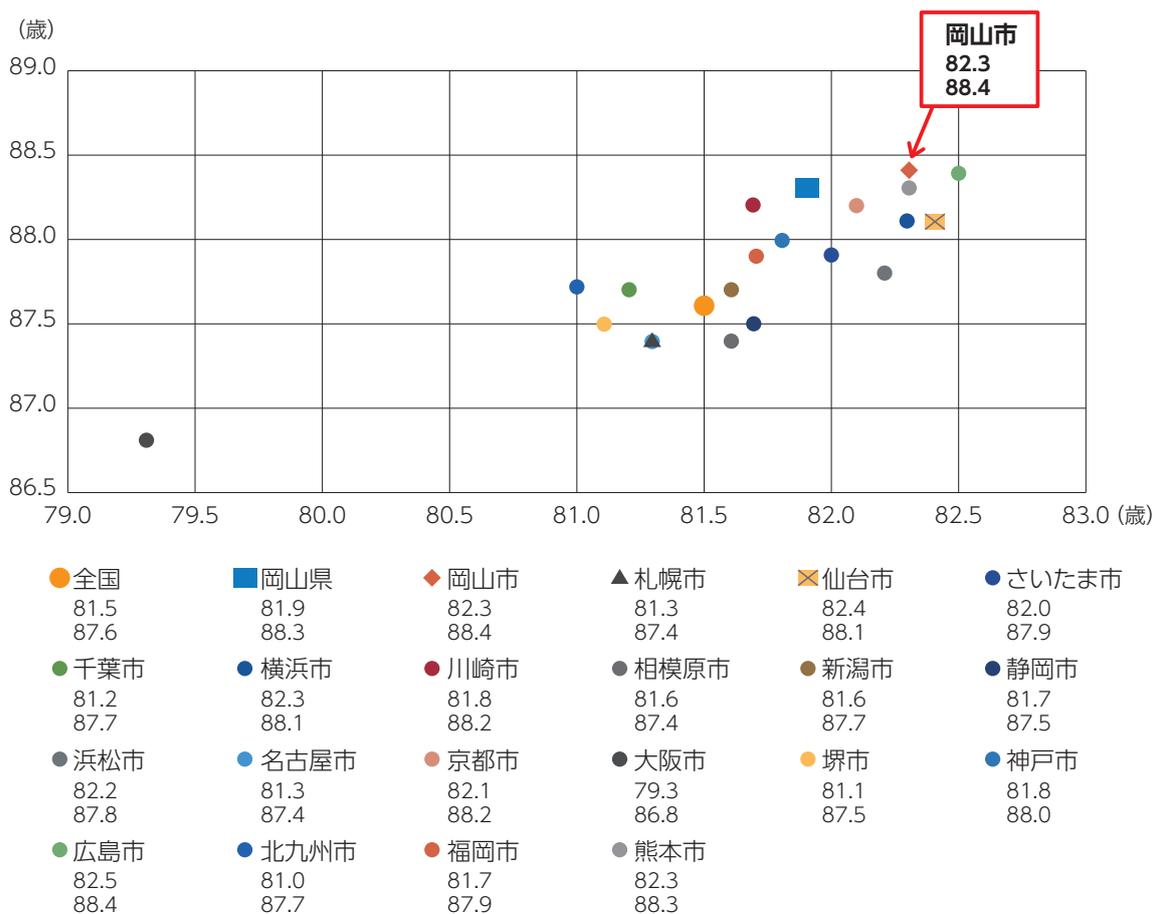
平均寿命（0歳の平均余命）は上昇が続き、さらに男女とも全国平均に比べ高く推移し、令和2（2020）年には岡山市は男性82.3歳、女性88.4歳でした。政令指定都市の中でも上位です。

図6 平均寿命



出典：第23回生命表（完全生命表）
令和2年生命表（都道府県別生命表・市区町村別生命表）

図7 男女別平均寿命の都市比較

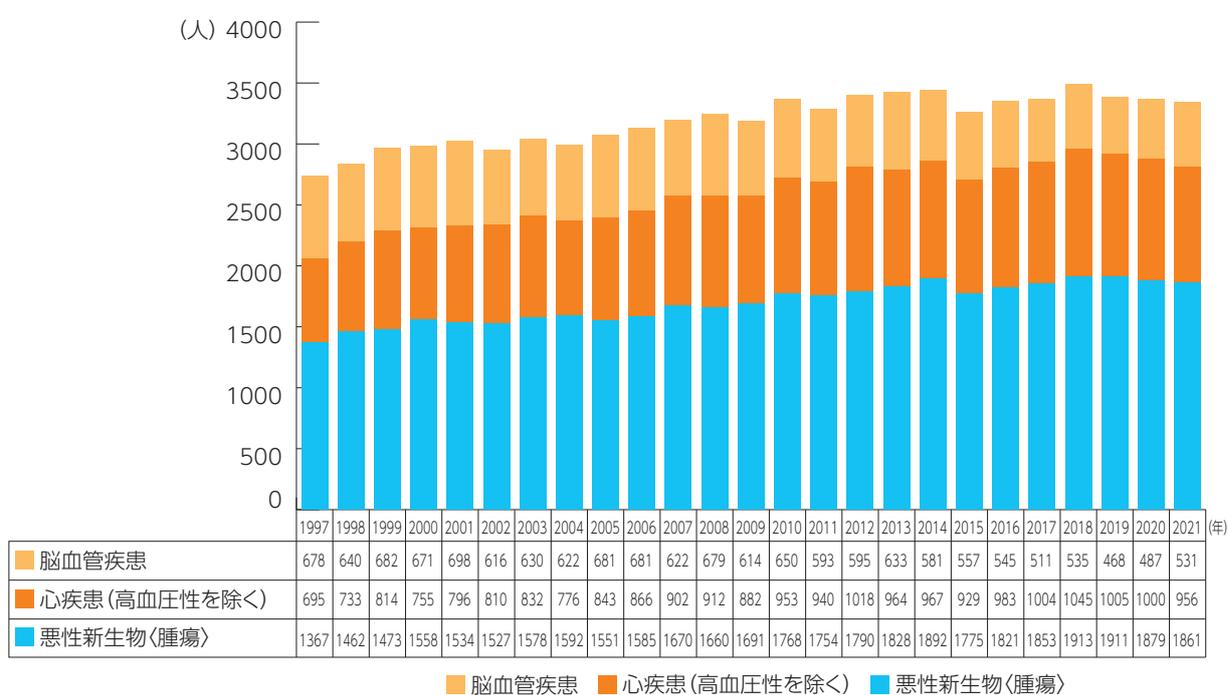


出典：第23回生命表(完全生命表)令和2年生命表(都道府県・市区町村別生命表)

2 疾病との関係からみる健康状況

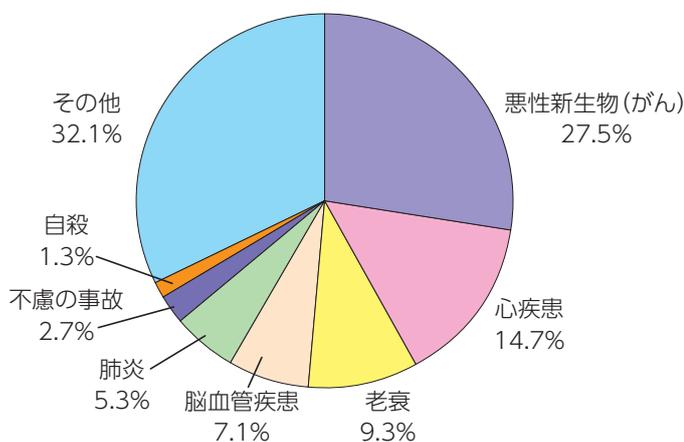
主要な生活習慣病による死亡者数は年々の変動はあるものの増加傾向であり（図 8）、令和 2（2020）年の死亡者数の 49.3% を占めています（図 9）。この死亡者数の増加には人口の高齢化が影響しており、死亡率を昭和 60（1985）年の標準人口で調整した調整死亡率を見ると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の何れも、減少してきています（図 10）。一方、全国の死亡率と比較すると、男女の肝がんの死亡は高く、その他の疾患では低くなっています（図 11）。

図 8 主要な生活習慣病の死亡者数



出典：人口動態統計（外国人および過年次報告分を含む）

図 9 岡山市死因別死亡状況（令和 2 年）



出典：令和 4 年度岡山市保健衛生年報

図 10 昭和 60 (1985) 年標準人口の全年齢の調整死亡率の 5 年移動平均の推移
(各年の 6 月末日住民登録人口)

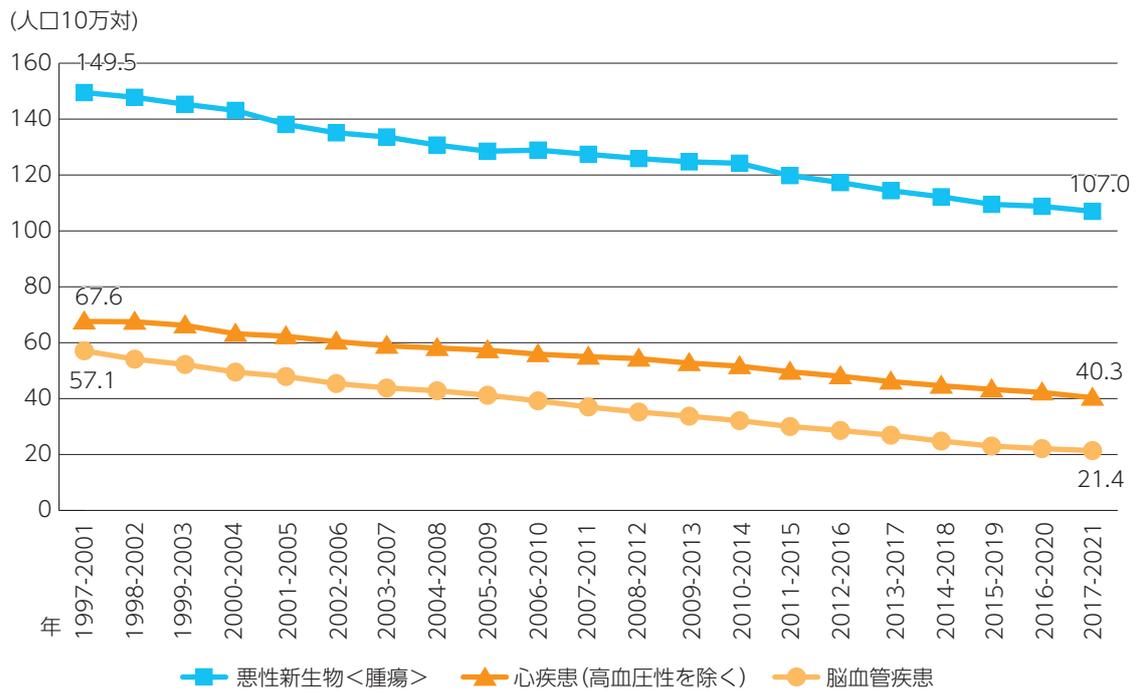
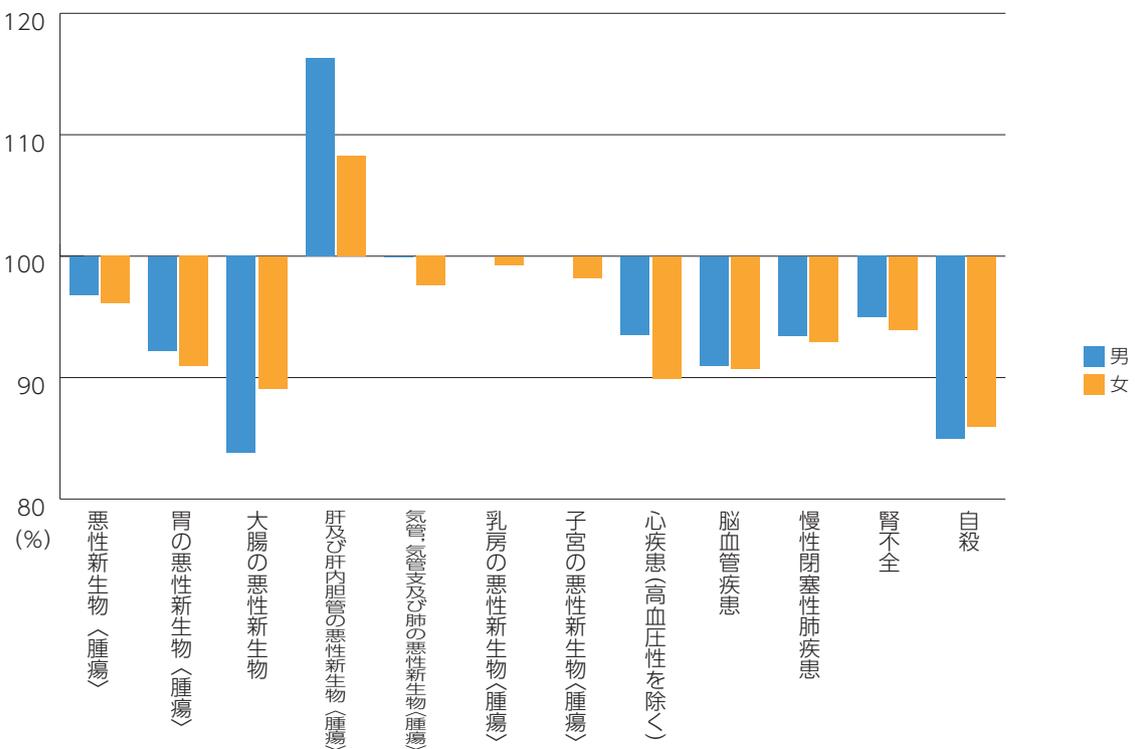


図 11 SMR^{*} (平成 29 年～令和 3 年)



出典：人口動態統計 (外国人および過年次報告分を含む)
各年の 6 月末日住民登録人口

※ SMR (標準化死亡率)：全国の性年齢階級別の死亡率で岡山市に死亡が起こった場合を 100 とし、岡山市で実際に起こった死亡数を比較した値。値が 100 であれば全国レベル、値が高くなるほど死亡者数が多いことを示します。